

授業科目	事例研究（観光経営管理） Case Study (Tourism Management)		担当教員	板垣 朝之			
展開方法	講義・演習	単位数	2 単位	開講年次・時期	1・2 年／後期	必修・選択	選択
授業のねらい							
<p><b>テーマ：観光立国が叫ばれる中での観光業の実例を研究し、今後を考える</b>  <b>目標：観光立国推進が国家目標となった環境下、観光関連産業の現場がどの様に対応しているかを実地調査により実証的に理解する。</b></p>							
観点	学生の授業における到達目標			評価手段・方法		評価比率	
関心・意欲 ・態度	観光業とは広い産業範囲を包含するが、国家目標の中で産業が果たすべき役割について関心を持ち、問題点の抽出と対応に関する仮説が提示出来る。			・課題レポート ・授業、討議への参画		20% 10%	
思考・判断	文化の発信体としての観光産業と私企業の利潤追求目標存続両立の限界と可能性に関し考察し、方向性を検証出来る。			・授業、討議への参画		10%	
技能・表現	文献、資料収集、検証、仮説構築、検証、方向性確認、可能展開案等を論理的に説明出来る。			・課題レポート ・授業、討議への参画		20% 20%	
知識・理解	特にインバウンド観光の今後の展開に関し、問題点の抽出を行うと共に、行政と私企業との連携による目標達成までの方向性を提言出来る。			・課題レポート ・授業、討議への参画		10% 10%	
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>授業での課題設定、実地調査、検証、レポート作成、発表といった一連の動きの中で、問題点の抽出、対応への仮説設定、検証、報告の展開方法等の内容を重視する。</p>							
授業の概要							
<p>授業は観光立国に向けた国の政策の確認作業からスタートし、特にインバウンド旅行者の受け入れ主体としての私企業の現状の事業運営実態を実地調査により確認し、また求められる方向性確認への仮説の構築、仮説の検証、レポート作成、発表といった内容で、未だ答えの見えない事柄について理解を深める。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：特に定めない。必要に応じ講義時にプリント、レジюме等を配布する。  参考書：必要に応じ講義時に案内する。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>「観光立国」が国の方針となり、主に外貨獲得の方法論としてインバウンド観光拡大が叫ばれている現状の中で、日本の観光の今後の方向性を見定める意味からも、観光業界全体の現状を身近に体験し、考察し、求められる姿を描く事が今後の日本の観光産業全体の更なる発展に寄与するはずである。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	「観光立国」の具体的姿の確認	国の観光立国に関する方向性を資料検証から理解する。	予習：日本の観光現状把握 復習：国の方向性把握確認
2	観光産業の現状把握	国の方向性と「観光立国」の中心課題であるインバウンド旅客増への観光産業全体の取り組み状況を把握する。	予習：資料の要約 復習：業界状況の実態整理
3	実地調査候補の選定 (1)	インバウンド業界の業態の確認を行い、実地調査先の選定、調査ポイント等をまとめる。	予習：戦後日本の旅行業史の再確認 復習：問題点の確認
4	実地調査候補の選定 (2)	実地調査対象企業、場所、調査ポイントの絞り込みを行い、調査票作成等の準備を進める。	予習：どの様な調査を行うのか事前準備 復習：調査内容の再確認
5	実地調査の実施	企業訪問、現地視察等の実地調査の実施。	予習：調査内容の確認、事前アポイントの確認 復習：確認内容のまとめ
6	実地調査結果のまとめ、レポートの作成準備	実地調査で得た内容をまとめ、仮説の構築へ必要な資料補足を行い、レポートを作成する。	予習：実地調査内容まとめ 復習：レポートの構成検討
7	レポート発表と問題点の再整理	調査結果レポートを発表し、問題点を再確認し、討議により問題点の掘り下げを行う。	予習：レポートの整理、発表準備 復習：レポートの最終仕上げ
8	「観光立国」における宿泊業の現状理解 (1)	文献資料からインバウンド旅客4千万人への道のりと宿泊業が果たす役割、問題点等を理解する。	予習：必要文献の収集と購読、理解 復習：宿泊業の現状問題点の再確認
9	「観光立国」における宿泊業の現状理解 (2)	宿泊業運営側との討議により、インバウンド旅客受け入れの問題点等を整理し、理解を深める。	予習：インバウンド旅客同行の再確認 復習：討議内容の再確認
10	「観光立国」における宿泊業の現状理解 (3)	宿泊業の実地調査の方法、調査先、調査内容等をまとめ実地調査準備を行う。	予習：宿泊業の問題点再確認 復習：調査準備まとめ
11	実地調査の実施	企業（ホテル、旅館、民泊施設等）訪問、現地視察等実地調査の実施。	予習：調査内容の確認、事前アポイントの確認 復習：確認内容のまとめ
12	実地調査結果のまとめ、レポートの作成準備	実地調査で得た内容をまとめ、仮説の構築へ必要な資料補足を行い、レポートを作成する。	予習：実地調査内容まとめ 復習：レポートの構成検討
13	レポートの発表と問題点の再整理	調査結果レポートを発表し、問題点を再確認し、討議により問題点の掘り下げを行う。	予習：レポートの整理、発表準備 復習：レポートの最終仕上げ
14	インバウンド観光の在り方再考	実地調査で確認した事柄を踏まえ、インバウンド旅客を受け入れる観光産業の実態を再確認し、討議により3千万人時代への求められる姿のとりまとめ準備を行う。	予習：インバウンド観光の魅力の再確認 復習：現状の再確認
15	まとめ	全体を振り返り今後の展望を考察し、レポートにまとめる。	授業全体についての整理・復習